

(第6条関係)

## 事業計画書

事業名	「松戸童謡作詞・作曲コンクールの開催」 事業
団体名	音・音楽フォーラム松戸

取り組もうとする松戸市のテーマ(課題)	近年、子守歌や童謡などやさしい歌が子どもたちの心の育みや人々の心の安らぎ(リラクゼーション)などに効果的であるということが認識されるようになった。時代的にも少子高齢化が進み、子守歌にとどまらず「親守歌」？が必要と指摘されて久しい昨今、それは松戸においても例外ではない。
事業の目的	近年、子守歌や童謡などやさしい歌が子どもたちの心の育みや人々の心の安らぎ(リラクゼーション)などに効果的であるということが認識されるようになった。時代的にも少子高齢化が進み、子守歌にとどまらず「親守歌」？が必要と指摘されて久しい昨今、それは松戸においても例外ではない。(再掲) そのような現状を鑑みると、我々はこれまでの歌に加え、世に永く歌い継がれる、現代にマッチした新しい童謡や子守歌の必要性を痛感している。 本活動が「童謡の里・やさしい歌の里」といった松戸の文化的側面を担うことで、派生的効果として地域の音楽教育や子育て環境にも良い影響を与えるのではないだろうか。それは松戸から全国へ向けた、新しい音楽文化の創造と活性化への発信である。 全国に向けた本コンクールが多くのすてきな歌を生み、それらが大きな輪となって人々の心に広がっていくことを願ってやまない。
事業内容	1 事業内容 《コンクールとコンサートの開催・楽譜出版》 ◇コンクール形式による全国的な新しい歌の発掘と同時に、 ◇地域の歌の発掘と拡大を図る。 → 授賞式コンサート(仮題)として、 入賞作品とともに童謡、子守歌のコンサートを開催する。 (1) 本コンクールは全国規模のものであるが、松戸から全国に向けて発信することにより、地域の人々の、童謡や子守り歌などの「歌」に対する意識化や触発をはかり、よって松戸の音楽文化の活性化を目指したものである。 (2) 我々は松戸市民のなかに、古くから地元で伝わる歌を口ずさんだり、また自作の子守歌を歌う人々がいることを知っている。コンサートによるコンクール入賞作品の発表だけでなく、そういった歌の発掘と公表・周知もまた、我々が目指すところである。 (3) 上記(1)(2)において集められた「歌」を(簡易伴奏付き)楽譜集としてまとめ、市内及び近辺の幼稚園などの教育施設等に配布し普及に努める。(市内配布約150部を予定)

2 スケジュール

	具体的な取り組み	実施体制、対象、場所など
4月	実施内容の検討と共通理解	音・音楽フォーラム松戸 役員会 場所未定(ゆうまつど、市民会館等)
5月	コンクール実施内容、募集内容の検討(継続)と決定	役員会、審査委員依頼及びボランティアの募集 場所未定(ゆうまつど、市民会館等)
6月	コンクール募集のインフォメーション(チラシ等文書作成)と印刷	役員会 場所未定(ゆうまつど、市民会館等)
7月	チラシ配布、及び各メディア等への周知 市内及び近辺へのチラシ配布、雑誌等への掲載依頼等	役員会・会員 場所未定(ゆうまつど、市民会館等)
9月	同上	役員会・会員 場所未定(ゆうまつど、市民会館等)
12月	予備審査会	審査会 場所未定
1月	最終審査会	審査会 場所未定
2月	演奏会準備、作品集入稿	役員会・会員・ボランティア打ち合わせ 場所未定
3月	授賞式コンサート開催	審査会・音・音楽フォーラム松戸 会員、ボランティア 松戸市民劇場を予定
	コンクール・コンサートの反省会とまとめ 事業報告書作成・報告	全体会 場所未定(ゆうまつど、市民会館等)

既存の事業からステップアップする部分

- (1) 作品の発掘と顕彰、及び保護
- (2) 良い作品の収集(作品のクオリティを追及)
- (3) 松戸からの発信「新しい童謡・子守歌の普及」

事業の目標

- (1) コンクール応募者数 50 作品(質の高い作品)を目指す。
- (2) 今回は市内の関係施設(幼稚園、保育園、児童館等)を網羅した配布を目指す(約 150 冊の配布を予定)
- (3) より以上の「新しい童謡・子守歌の普及」を目指す。(メディアを駆使した全国的なインフォメーションの拡大)
- (4) 授賞式コンサートの来場者数を 200 名、アンケート調査満足度を 80%以上を目指す。

今後の展望

- (1) 同コンクールの継続
  - (2) それに伴う童謡の演奏会、楽譜出版の継続
  - (3) 新しい童謡・子守歌の普及
  - (4) 乳幼児教育や地域における音・音楽環境の充実
- (具体的には上記 1~4 に関連した演奏会、ワークショップや講演会など、目標を具現化するための様々な活動の継続を考えている)

(第6条関係)

### 事業の予算概要

【収入】

(単位：円)

科目		金額	積算内訳
団体	団体拠出金	¥ 4,500	団体年予算の半額を本事業に拠出
	事業収入	¥ 50,000	チケット売り上げ(入場料1000円×50)
	自己資金の合計額 (A)	¥ 54,500	
市	市民活動助成金 (B)	¥ 224,698	
合計額 (C) = (A+B)		¥ 279,198	

【支出】

科目		予算額	積算内訳
助成金の交付対象経費	報償費	¥ 115,000	審査委員外部講師謝金 50000円×1名 25000円×1名 外部演奏者謝金 20000円×2名
	消耗品	¥ 4,820	コピー用紙 封筒・筆記用具等 資料作成、資料郵送等
		¥ 10,000	プリンターインク 10000円
		¥ 4,000	賞状・筒、記録メディア 4000円
	委託料	¥ 80,000	入賞作品出版費(楽譜浄書含) 80000円(200部)
	食糧費	¥ 4,000	審査員・演奏者 昼食 1000円×4
		¥ 12,000	入賞者昼食 1000円×12名=12000円
	印刷費	¥ 6,350	チラシ 3000枚 6350円
	通信費	¥ 4,248	切手・葉書(入賞者用資料) 82円×12名984円 葉書62円×12 744円 レターバック360円×7名 審査員・演奏者 2520円
	使用料及び賃借料	¥ 31,980	付帯設備含 会場費5400円+10800=16200 照明 4650×2=9300円 ピアノ3240円× 2=6480円
	対象経費の合計 (D)	¥ 272,398	
	その他経費	食糧費	¥ 4,800
交通費		¥ 2,000	コンサートスタッフ交通費 500円×4名
その他経費の合計 (E)		¥ 6,800	
合計額 (F) = (D+E)		¥ 279,198	

【チェック項目】

- 1 助成金 (B) が対象となる経費 (D) 欄の90%以内、自己資金 (A) 欄が対象経費 (D) 欄の10%以上であること。
- 2 助成金 (B) が、スタート助成の場合は1事業あたり10万円以内、ステップアップ助成の場合は1事業あたり30万円以内であること。